

放射線治療科

Radiation Oncology



概要

■対象疾患

根治療法：病気を治す目的で行う治療

脳腫瘍、頭頸部腫瘍、肺がん、食道がん、肝臓がん、膵臓がん、前立腺がん、肛門がん、膀胱がんや悪性リンパ腫、皮膚がんなど。

緩和療法：症状の緩和や延命をはかる治療

がんの原発巣や骨転移、脳転移などによる症状の緩和。

術前・術後照射

脳腫瘍、頭頸部腫瘍、乳がん、肺がん、食道がん、子宮がん、前立腺がん、直腸がん、軟部(筋肉・脂肪・骨)腫瘍、皮膚がんなど。

その他

血液疾患の前処置である全身照射は、ラディザクトを使用して高精度に治療します。肺などの線量を低減しつつ全身を均一に治療することが可能です。

特徴・特色

放射線治療を主体として、手術や化学療法との併用も考えながら、より根治性が高い治療を行う集学的診療科です。

- 2022年に中国地方で初めて導入されたラディザクトで高精度放射線治療、追尾照射を行い、翌年導入したトゥルービームで高精度放射線治療、息止め照射や同期照射を行うなど、2台の特徴の異なる機器によって多種多様な放射線治療を患者さんに提供でき、幅広い病態に対応可能です。
- 緩和治療に積極的に取り組んでいます。
- 院内各科と協力してチーム医療を実践しています。
- 2003年より乳がん術後の短期照射に取り組み、全国有数の実績があります。
- 陽子線治療施設との連携も行っています。

当科の モットー

高精度放射線治療装置を使用して、副作用の少ない"切らずに治す"放射線治療を提供いたします。患者さんの生活の質に配慮し、安心して治療を受けていただけるようお手伝いします。

診療実績 (2022年1月～2024年12月)

放射線治療(新規)	906例	全身照射	19例
高精度放射線治療 (強度変調放射線治療)	459例	高精度放射線治療 (定位放射線治療)	77例



あつしくから
ひとこと

経験豊富な放射線治療の専門医がそろっており、各種がんの手術後の再発防止のため、あるいは手術不能の進行がんや再発がんを治療しています。高精度の治療機器を有しており幅広い疾患に対応できます。

放射線治療科